

令和 6 年度

第 2 回神崎市地域公共交通会議・第 2 回神崎市地域公共交通活性化協議会

- 開催日時 令和 7 年 2 月 6 日（木）10 時 00 分～11 時 00 分
- 開催場所 神崎市役所 3 階大会議室
- 出席者 [委 員] 羽立一喜（区長会）、鶴田良治（区長会）、馬場崎安則（老人クラブ）、吉原俊樹（神埼町住民代表）、實松英治（脊振町住民代表）、小山淳也（有限会社ジョイックス交通）、牟田嘉伊座（佐賀運輸支局）、仁戸田幸司（東部土木事務所）、西田傑（神埼警察署）、及川雅陽（代理・佐賀県さが創生推進課）、中島勝利（市総務企画部長）

[オブザーバー] 吉野啓（吉野ヶ里観光タクシー有限公司）

[事務局] 音成栄志、小柳恒有、執行祐恒、大澤聖也

- 傍聴人 なし
- 会議次第
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る神崎市地域公共交通網形成計画（変更）（案）について
 - 3 その他
 - （1）地域ケア推進会議で提唱された地域公共交通に関する意見について
 - 4 閉会
- ※ 上記の会議録の内容は別紙のとおり

会 議 録

1 開 会

2 議 題

事務局 総委員 19 名中 11 名の出席により、交通会議設置要綱第 6 条第 2 項並びに協議会規定第 8 条第 2 項により本会議が成立していることを報告。

オブザーバー参加者を紹介。

交通会議設置要綱第 5 条第 2 項並びに協議会規定第 5 条第 2 項により神崎市総務企画部長が会長となる。

交通会議設置要綱第 6 条第 1 項並びに協議会規定第 8 条第 1 項により会長が議長となる。

(1) 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る神崎市地域公共交通網形成計画（変更）（案）について

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 説明

議 長 質疑を求める。
質疑無し。

議 長 挙手により承認を求める。⇒承認される。

3 その他

(1) 地域ケア推進会議で提唱された地域公共交通に関する意見について

事務局 令和 6 年 1 2 月 1 2 日に開催された地域ケア推進会議にて、公共交通に関する意見が出ていることについて説明。

高齢障がい課 地域ケア推進会議について説明。令和 6 年 1 2 月 1 2 日に提唱された意見について説明。

委 員 そもそも公共交通なので高齢者だけに向けたものではない。改編に向けては幅広い世代の意見が必要で、今回の意見は少し偏った意見になってしまっ

いると思う。

事務局 本会議にて今回の件を話題として出したのは、あくまで地元住民の声を共有するためのもの。要望としてとらえた場合、ご指摘の通り一部の利用者に向けたものとなり、それを実現することが公共交通として適切とは認識していない。

当然利用者が少ないことは課題であるので、来年度公共交通計画策定を行う際の参考としたい。

事務局 本協議会の成り立ちが、佐賀～八女線の廃止に伴い、幅広い方々に利用しやすい公共交通を模索したことから始まったもの。これからもその考えを続けていきたい。

委 員 脊振は高齢者が多く、小中学生は少ない。教育委員会の中で、神埼町から脊振中学校へ通うことができるような制度を検討していただいている。そうしたとき、今の三瀬神埼線では、登校時は良いが、帰りの時間について時間帯が合わない形になっていると思う。ある程度考慮した計画をしてほしい。

委 員 公共ライドシェアが空白地域の良い対策となると思う。

事務局 公共ライドシェアについて、地域的に有利・不利もあると考えている。これからも引き続き研究を行う。

委 員 既存の事業者、営業活動とのバランスをしっかりと、公共が青天井でサービスを提供する、といったことにならないように留意すべき。

委 員 高齢者に配慮いただきありがたい。乗車率が低いことについて対策があれば教えてほしい。

事務局 令和7年度計画を改定するタイミングで様々な議論を行っていただくことを計画している。事務局として、他事例の研究を含めて検討している部分はあるが、まだこの場では公表できる状態にない。だが、より利用しやすいサービスに作り替えていきたいと考えている。

オブザーバー 他市町で同じような事業を行っている立場として情報を共有させていただく。サービスの充実と費用は必ず相関関係にある。その中で、行政の皆さんは国・県の補助を活用し運行していただいている。より自由度の高いサービスを望むと、その補助要件とぶつかるところがあるのでそこも考慮いただきたい。これから実際に区域運行を担っていくが、我々からも行政に様々な提案を行っていき、行政と民間で連携しながら進めていきたいと考えている。また、ライドシェアについてお話が出たが、ライドシェアを使わずともタク

シーが使える、といった環境を事業者として目指している。ライドシェアの導入については慎重に検討願いたい。

委 員 共存共栄が必要と思い提案させていただいた。ご理解いただきたい。

(2) 国予算事業等の紹介

委 員 「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム、国予算事業等について説明。

4 閉会